

セブン
7A

私たちの
スローガン
です

- A**dolescent 思春期保健の推進
- A**bortion 安全な人工妊娠中絶
- A**ccess どこでも誰もがサービスを受けられる
- A**dvocacy 啓発・提言活動
- A**IDS STI及びHIV/エイズの予防
- A**geing 高齢化社会対策
- A**busive 児童虐待の防止

家族と健康

Reproductive Health

JFPOA
ジャポア

一般社団法人
日本家族計画協会

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館
電話03(3269)4727 FAX03(3267)2658 <https://www.jfpa.or.jp>
発行人:北村 邦夫 編集人:三橋 裕行

2020年度

本会事業報告・決算承認

2020年度は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に翻弄され続けた一年であった。東京五輪・パラリンピックの開催が延期され、臨時休校の実施や医療が逼迫する(ことなど)誰が予想できたであろうか。ワクチンが世界各国で開発され、既に積極的な

接種が行われている国がある一方、わが国の場合、ワクチンの供給量不足もあって接種が遅れ、COVID-19収束への目途が立っていないと言われている。COVID-19の拡大に伴い、1954年に本会が創設されて以来、未曾有の経営危機に襲われた。

開催予定であった事業がことごとく中止あるいは延期を余儀なくされてきた。本会にとつての使命は、この諸課題の解決に向けて積極的に取り組んでいくことである。以下、本会のスローガンである7A (Adolescent, Abortion, Access, Advocacy, AIDS, Ageing, Abuse)に沿って20年度の主だった事業を振り返ってみたい。

7A—本会の取り組み

Adolescent

「思春期保健の推進」
「女性医療セミナー」

「女性保健医療セミナー」などは、オンラインでのセミナー開催にとまらざるを得なかった。中でも、1981年からスタートした「JFPA 思春期保健セミナー」は、対面での開催を断念し、コースI (第87回)、受講者437名、コースII (第59回)、健相談士®は9353名

「女性保健医療セミナー」受講者397名)については、オンラインで開催された。実践編であるコースIII (第67回)は、講師と受講者とをライブ・オンラインで結び、プレイアウトルーム(グループ分け)機能を活用し、ディスカッションや指導法が教授されるなどの工夫を凝らし、最終的には231名が受講。これ为本会が認定した思春期保健相談士®は9353名

「女性保健医療セミナー」受講者397名)については、オンラインで開催された。実践編であるコースIII (第67回)は、講師と受講者とをライブ・オンラインで結び、プレイアウトルーム(グループ分け)機能を活用し、ディスカッションや指導法が教授されるなどの工夫を凝らし、最終的には231名が受講。これ为本会が認定した思春期保健相談士®は9353名



写真1 ソーシャルディスタンスを保って開催した「指導者のための避妊と性感染症セミナー(SRHセミナー)」会場の様子



写真2 SRHセミナーでの検温の様子



図1 若者向け冊子「#つながるBOOK」

Abortion

安全な人工妊娠中絶

99年に低用量経口避妊薬(ピル)が承認・発売されたことを契機にスタートした「指導者のための避妊と性感染症予防セミナー(SRHセミナー)」は、感染予防に最大限努めながら、全国8会場(第1633-170回)で対面開催された(写真1-2)。メインテーマは「SDGsから見るとプロダクティブ・ヘルスの課題」。SDGs(持続可能な開発目標)の推進は本会においても重要な課題であることを認識するようになった。

コロナ禍にあって、自粛生活を送る中、若者たちが「にんしんSOS」相談に殺到。全国一斉休業などによって若者たちの性行動が活発化し妊娠が増えたに違いないとの憶測が流れた。自粛下にあつてパートナー間の暴力や家庭内暴力が頻発しているとの報道もあつた。これを受けて、急遽スタートした2020年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(厚生労働科学特別研究事業)研究(研究代表者・安達知子 日本産婦人科医会常務理事)の分担研究を担当し、20・69歳の日本人男女1万人を対象として「コロナ禍における第一次緊急事態宣言下の日本人1万人調査」や若者向け冊子「#つながるBOOK」の制作などを終えた(図1)。母体保護法

表1 緊急避妊薬服用に係る支援体制整備に関する要望事項

要望事項
緊急避妊薬の使用時に、助産師外来や助産所等で受胎調節実地指導員またはアドバンス助産師®による支援が受けられる体制の整備を図りたい。

「安全な人工妊娠中絶」を実現するために、経口妊娠中絶薬の開発に取り組んでいる企業へのサポートを積極的に行つた。

「要望」を厚生労働大臣、内閣府特命担当大臣(男女共同参画)に提出した(表1)。

Advocacy

啓発・提言活動

本会の機関紙「家族と健康」は、創設以来1号の欠号もなく昨年11月には第800号の記念特集号を発行(次頁図2)。

2面へ続く

役員人事

(6月16日付)▽会長・北村邦夫(前会長兼理事長)▽代表理事理事長・三橋裕行(前専務理事)

ピル・わかるページ

Life Design Drug Pill

ピルは女性の人生設計をサポートしてくれる薬です。一緒にピルに関する正しい知識を身に付け、これからのライフデザインを描いてみませんか?

まずはアクセス!!

<http://www.pill-page.com/>



「家族と健康」800号記念に寄せて

900号に向けて日本家族計画協会(JFPA)に期待すること

本会が長年にわたって取り組んできた子宮頸がん予防を巡って大きな動きがあった。一つは、ワ

本会が中高年女性のQOL向上支援として位置づけている「リユーズゼリー」と「メノケア」が

本会が中高年女性のQOL向上支援として位置づけている「リユーズゼリー」と「メノケア」が

本会が中高年女性のQOL向上支援として位置づけている「リユーズゼリー」と「メノケア」が

図2 機関紙「家族と健康」800号記念特集号 特集「800号記念に寄せて」

高齢化社会対策

本会が中高年女性のQOL向上支援として位置づけている「リユーズゼリー」と「メノケア」が

本会が中高年女性のQOL向上支援として位置づけている「リユーズゼリー」と「メノケア」が

本会が中高年女性のQOL向上支援として位置づけている「リユーズゼリー」と「メノケア」が

児童虐待の防止

児童虐待による死亡事例の背景をみると、予期しない妊娠、妊婦健診未受診、母子健康手帳未交付、若年妊娠などが目立っている。本会が創設以来取り組んできた「早期来取り組んできた予期しない妊娠/計画していない妊娠」の防止に力を入れている。本会が創設以来取り組んできた「早期来取り組んできた予期しない妊娠/計画していない妊娠」の防止に力を入れている。本会が創設以来取り組んできた「早期来取り組んできた予期しない妊娠/計画していない妊娠」の防止に力を入れている。

「防ごう! まるとり マルトリートメント」

「防ごう! まるとり マルトリートメント」

コロナ禍でDV相談件数、女性の自殺者数増加

6月11日、政府は2021年版「男女共同参画白書」を閣議決定した。その中で、コロナ禍で顕在化した男女共同参画の課題として、DV(配偶者暴力)相談件数の増加、女性の自殺者数の増加などを挙げた。

経営基盤の安定に向けた取り組み

COVID-19による業績の悪化は、公益目的支出計画事業、リプロダクティブ・ヘルス推進事業の分け隔てはなかった。

「医療的ケア児支援法」、改正育児・介護休業法が成立

6月16日閉会の第204通常国会

「医療的ケア児支援法」

「改正育児・介護休業法」

「サービス」の向上に取

「サービス」の向上に取

「サービス」の向上に取

うるおい不足によっておこる性交時の痛みや違和感を緩和

うるおい不足は誰にでも起こります。

- 更年期や華麗に伴う身体的な変化
- 職場・家庭におけるストレスの蓄積
- 不規則な生活、過度なダイエット
- 授乳期・出産後など

リユーズゼリーは、あなたをいたわるデリケート部用 潤滑ゼリーです。

さらっとした自然なうるおい。リユーズゼリー

とろっとなめらかに広がる温感タイプのゼリー。リユーズゼリー Hot

容器から直接ゼリーが塗れる。リユーズゼリー デリケートイン

プレミアムなうるおい長持ち。リユーズゼリー PREMIUM

発売元 JFOA 一般社団法人 日本家族計画協会 https://www.jfpa.or.jp/

製造元 JEX ジェクス株式会社 https://www.jex-inc.co.jp/

